

## 貝毒の毒化軽減システムの導入と普及、指導

### 貝毒を養殖技術で解決する「毒化軽減シート」～生産現場での取り組み～（26年度）

水産研究部 養殖環境チーム

大分県佐伯市蒲江地



#### 1. 研究の背景

大分県では貝の毒化による麻痺性貝毒<sup>※</sup>の発生を防止するため、定期的に沿岸域の貝毒プランクトンの発生状況や貝毒モニタリング調査を実施して、安全確保に努めている。貝類養殖場で貝毒が発生すると、貝を避難漁場に移動したり、出荷停止等で対応しており、せっかく育てた貝類の周年出荷ができないことがしばしばあった。

##### ※麻痺性貝毒 とは

海水中の有毒プランクトンを捕食した貝が毒を蓄え、毒化した貝を人が食べる事により神経系（麻痺）の中毒症状を引き起こす現象。

#### 2. 研究成果の内容・普及のポイント

そこで水産研究部では、養殖中の貝類の毒化を防ぐための技術開発に取り組み、ヒオウギ養殖を対象に「毒化軽減シート」を開発した。

##### ●「毒化軽減シート」を用いたヒオウギ養殖の方法と貝毒軽減の仕組み（図1）

1. ヒオウギ養殖カゴをポリエチレン製の毒化軽減シートで覆う。
2. 海水の交換はシートの下側からのみ行われる。
3. 貝毒プランクトンの侵入を、シートがブロックして毒化が軽減される。（図2）

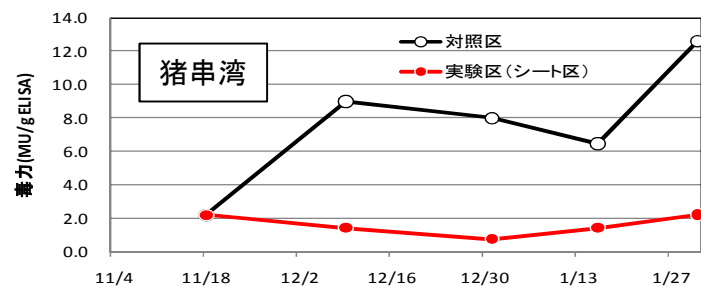
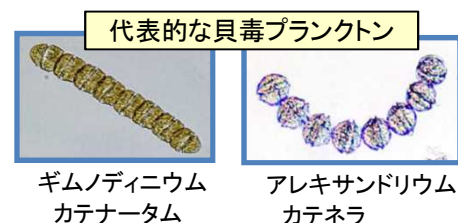


図2 毒化軽減シート(実験区)の効果

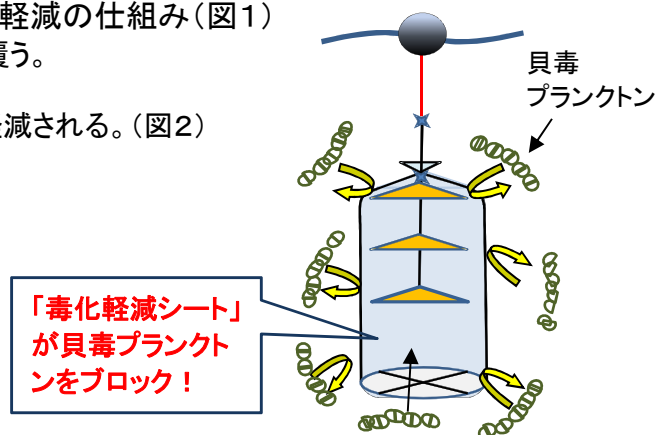


図1 毒化軽減シート養殖

#### 3. 期待される効果

- ・毒化の軽減で周年出荷が可能に！なかでも、年末やゴールデンウィーク等の需要増大期にも出荷停止がなくなり、生産者の安定収入につながる！
- ・装置が簡単で、現場で実践でき、しかも安価。すでに養殖生産現場で使用！（写真1）
- ・ヒオウギのほか、他の貝類養殖にも利用が可能！
- ・現在、特許審査請求中。→ **平成27年10月9日、特許登録済(第5818111号)！**



写真1 生産現場で使用

発明の名称：「貝類毒化軽減装置および貝類毒化軽減方法」

出願日(出願番号,公開番号)：平成25年6月18日(特願2013-127360, 特開2015-55)

#### 4. 担当機関連絡先

水産研究部 養殖環境チーム

TEL:0972-32-2155

住所:大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6